

第609回福崎町教育委員会会議録

開催日時 令和元年12月27日（金）午後1時30分から午後3時10分
開催場所 福崎町役場 3階 第1委員会室
出席委員 高寄十郎、石川治、桑谷祐頭、西井裕子、井奥智子
事務局 学校教育課長 大塚謙一、社会教育課長 大塚久典

1. 開会

2. 608回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として石川委員、井奥委員を指名しました。

3. 教育長報告

(1) 園小中学校の様子

・ 幼稚園

無償化が導入されていますが、そのことによって大きく変化することなく、ほぼ順調だと思います。

幼稚園でインフルエンザに罹患した子供もいますが2号認定、3号認定は学級閉鎖ができません。1号認定は学級閉鎖が可能です。

・ 小学校中学校

小学校ではインフルエンザが流行りました。しかしながら校内マラソン大会を実施し、2学期が終了しました。

中学校はあまりインフルエンザが流行りませんでした。3学期の受験の頃に、インフルエンザが流行らないことを願っています。

町では小中学生のインフルエンザ予防接種に補助金を出して予防接種を進めています。こちらをもう少し利用してもらえば町の思いも伝わっていくでしょうし、子供たちの罹患率も低くなるのではないかと考えています。

・ 中学校の生徒指導上の問題について

口頭により説明しました。

(2) 12月議会について

・ 高岡小学校複式学級について

12月13日付けで、町長と私宛てに高岡小学校PTA会長と校長の連名で要望書が提出されました。内容は、①現在の指導体制を保持し2年生と3年生は別々の教室でそれぞれの学年のカリキュラムで指導していくこと。②加配教員の配置と人的な充実を図っていただくこと、ということでした。この二つの要望は、既に教育委員会や総合教育会議で町長を交えて話し合ったその支援策とほぼ同じだと思います。

私としても、高岡小学校は存続させなければならないと考えていますが、それは私だけの力でもできないし教育委員会だけの力でもできません。また町だけの力でもできません。やはり最終的には地域に住んでいる方々の力が必要だと思います。

・ その他一般質問

口頭より報告しました。

(3) インフルエンザについて

資料に基づき説明しました。

(4) 参加行事等

資料に基づき説明しました。

(5) その他

次回の教育委員会 令和2年1月24日(金)午後1時30分から

4. 報告事項

<学校教育課>

(1) 給食への異物混入について

11月22日に福崎東中学校の1年2組で、「かれい」の中にミミズのようなものが混入していました。12時30分頃学校から連絡がありました。その後、給食センターの栄養士が13時頃に食べたところ同じようなものが混入していました。

12月5日に納入業者の泉平から成分検査の結果報告があり、異物は「アニサキス」と思われ、加工業者の(株)魚中(東京都足立区)が製造工程の切身加工と箱詰めにおいて目視検査を実施しているが切身の中に入っていたため、発見できなかったということです。(使用した原料は-18℃以下で24時間以上凍結したものを使用しているため寄生虫は死滅している。)

対応として寄生虫を発見した場合はその切身を使用しないこと、また工場長及び各セクション製造責任者が全作業員に対して今回の異物を提示したうえで目視検査の徹底を指示しています。給食センターとしては12月の献立で「かれい」の一夜干しから「鱈」の一夜干しに魚の種類を変更し、「アニサキス」の混入の危険性が低い魚に変えています。健康被害はありませんでした。

(2) 建設工事等の進捗状況について

福崎小学校北校舎の長寿命化改修に係る実施設計業務委託ですが、ほぼ業務が完了しています。進捗率は12月20日現在で95%です。今後は令和2年度の発注に向けて工事費の積算等に入ります。

(3) 第2期子ども・子育て支援事業計画について

別冊の「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」をご覧ください。福崎町子ども・子育て会議を9月5日、10月31日、12月23日の3回開催し協議していただきました。またパブリックコメントを11月27日～12月17日の間開催しました。町ホームページや町情報公開コーナーに備え付けて実施しましたが、意見はありませんでした。

表紙の次に「ごあいさつ」とありますが、ここには尾崎町長の挨拶文が掲載される予定です。

「第1章 計画策定にあたって」です。「3. 計画の期間」において第2期計画は令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間としています。「計画の策定体制」は福崎町子ども・子育て会議にて議論いただき策定しました。

「第2章 福崎町の子どもと子育てを取り巻く現状」については、統計から見た現状として人口の推移や認定こども園等の入園状況や学童保育の利用状況の推移を掲載しています。「年齢3区分別人口構成比」のグラフでは高齢人口比率が増加傾向となっていることが分かります。「総世帯数及び平均世帯人員」グラフからは、総世帯数は増加傾向にある一方、一世帯あたりの平均世帯人員は減少傾向となっており核家族化が進んでいることが分かります。(2)の出生の傾向では平成27年度の福崎町の合計特殊出生率は1.60となっています。「人口動態の推移」のグラフからは、自然減と社会減が続いていることが分かります。以降、統計を掲載しています。

次に「2. アンケート調査結果からみた子育て支援ニーズ」は昨年度実施したアンケートの結果を一部抜粋して記載しています。(1) 母親の就労状況では、平成25年度

と比較し、フルタイムで就労している母親が増えています。また（7）小学校就学後の放課後の過ごし方では、小学校低学年において学童保育で放課後を過ごさせたいと回答している方が増えており、学童保育のニーズが高まっていることが分かります。

「第3章 計画の基本的な考え方」についてです。基本理念を「地域がともに支え合い、すべてのこどもと子育て家庭が安心して健やかに暮らせるまち ふくさき」と定め、基本目標として、1) 地域における子育て支援、2) 母親及び子どもの健康の確保、3) 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備、4) 子育てを支援する生活環境の整備、5) 仕事と子育ての両立の推進、6) 子ども等の安全の確保、7) 要保護児童への対応等きめ細やかな取り組みの推進、と規定しておりこちらも「第1期子ども・子育て支援事業計画」を継承したものとなっています。

計画の体系では7つの基本目標ごとに基本施策を定めていますが、1点、第1期計画から変更になっている箇所があります。前回の計画では「基本目標1 地域における子育て支援」の基本施策が⑥まであり、6番目に“経済的負担の軽減”という施策を記載していましたが、今回はより施策の内容に合致する「基本目標7 要保護児童への対応等きめ細やかな取組の推進」に記載場所を変更しており、施策名も“④家庭の経済状況等にかかわらず、子どもが健やかに育つための支援”としています。

「第4章 施策の展開」として第3章で定めている基本施策ごとにそれぞれ現状と課題、行政の今後の取組、地域や親・家庭に担っていただきたい役割について記載しています。

基本目標5「仕事と子育ての両立の推進」において令和2年度から5年間の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保について定めることとされており、各事業の量の見込みと提供体制の確保量について掲載しています。昨年度実施したアンケート調査での分析結果によるニーズ量では、実績との乖離が見られたため、過去の実績を基に10月から開始となった幼児教育・保育の無償化による影響を踏まえて計画を立てました。まず1号認定についてです。無償化開始により今年8月以降に約30名が1号から2号へ認定変更され、今年4月当初では142人だった1号認定が11月1日時点では109人まで減っています。令和2年度以降も1号認定での利用が少なくなると想定し、110人前後の人数を見込んでいます。次に2号認定です。過去3年間の実績と無償化により1号から2号への認定変更を考慮し、3～5歳の全人口の約75%の子どもが2号認定で入園するとし、今後5年間の人口推計の75%の人数である360人前後で見込んでいます。3号認定は無償化の対象外となり、無償化による影響を受けないため、過去3年間の実績により0歳児が29人、1・2歳児が160人前後と量の見込みを立てています。まず①時間外保育事業は、過去3年間の年間の実利用人数から見込みを出しています。次に②放課後児童健全育成事業（学童保育）です。就労される母親が増加し、それに伴い年々登録者が増加しています。今後5年間にかけて登録者は更に増加すると想定しています。今年度は4月末までに289人の登録がありましたので、来年度以降徐々に増加すると見込んだ数値です。③子育て短期支援事業です。こちらについては、平成28年度以前は実績がなく平成29年度は年間8人日、平成30年度は年間37人日の利用がありました。利用希望の有無により、大きく実績が変わるため、量の見込みが困難ですが、昨年度の実績を基に40人日/年間としています。④地域子育て支援拠点事業です。第2期計画から量の見込みを、ひと月単位から年間での延べ利用日数に修正しています。こちらも過去の実績から見込んでいます。⑤一時預かり事業（幼稚園型）と一時預かり（幼稚園型以外）も過去の実績から見込んでいます。⑥病児保育事業です。現在協議中ではありますが、令和2年度中に郡内3町合同で実施予定のため、令和3年度からの量の見込みを立てています。⑦子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター）です。前回の計画同様、アンケートによる利用意向が少なかつたため、計画期間の中間年での見直し等の機会に事業実施の検討を行います。⑧利用者支援事業から⑩養育支援訪問事業は過去の実績に基づいて量の見込みを立てています。また⑫と⑬は今回新たに追加しています。現在福崎町で実施予定はあ

りませんが、今後対象者が入園する場合や民間事業者の参入希望があった際に実施する可能性がありますので記載しています。

(4) は教育・保育の一体的提供及び教育・保育の推進体制の確保の内容について記載しており(5)については子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保の内容とありますが、こちらは10月から開始された幼児教育・保育の無償化実施に伴い創設された給付制度について記載をしています。新たな項目です。

基本目標5「仕事と子育ての両立の推進」として、仕事と子育てを両立するための社会環境の整備について行政の取り組み等を記しています。

基本目標6「子ども等の安全の確保」、基本目標7「要保護児童への対応等きめ細やかな取り組みの推進」と教育委員会だけではなく住民生活課や健康福祉課・保健センターにおける町の施策を記しています。

第5章の「計画の推進」としてPDCAサイクルによる進行管理と福崎町子ども子育て会議においてご意見をいただきます。

資料として「福崎町子ども・子育て会議条例」を掲載しています。また今年度委員をお願いしている皆様の名前を委員名簿に記載させていただきます。この計画につきましては、来年の総務文教常任委員会、3月議会に提出し議決をいただく予定です。説明は以上です。

(4) その他

1) 学級閉鎖・学年閉鎖について
教育長説明と重複するため割愛

2) 主な行事予定について

福崎町教育委員会事務事業評価委員会で平成30年度の教育委員会事務事業について、点検・評価をお願いしています。第1回は12月11日に開催済みで、第2回が令和2年1月16日に、第3回が2月12日に開催予定となっています。報告書「ふくさき町の教育」を作成します。学校教育課からは以上です。

<社会教育課>

(1) 第12回吉識雅夫科学賞について

12月4日に審査委員会を開催し決定しました。小学校低・中学年の部では田原小学校3年生、吉田颯さんの「生き物図鑑」、高学年の部では、田原小学校6年生、齋藤肇さんの「微生物の培養」、中学校の部では、東中学校2年生、大塚みつきさんの「発見!梅干パワー」が受賞されました。各学校から選抜された作品56点の一覧を載せています。吉識雅夫科学賞以外にそれぞれの部門ごとに奨励賞を2点ずつと、教育長賞1点を決定しています。科学賞は3月7日に柳田國男ふるさと賞や文化功績賞等と合わせ表彰式を行います。

(2) 建設工事等の進捗状況について

・エルデホール空調設備改修工事は、11月25日よりエルデホールを休館し、順調に工事が進んでいます。12月20日現在の進捗率は30%です。

・青少年野外活動センター多目的広場整備工事は、多少出来高に変更が生じたため、138,600円の増工となりました。11月15日に変更契約を行い変更契約額は、3,493,600円となりました。現場は、11月22日に完成しています。

(3) 今後の予定

a. 成人式

1月13日(月・祝) 午前10時～ 文化センター

b. 歴史体験隊修了式

1月25日(土) 午前10時～ 生活科学センター

お忙しいとは存じますが、出席方よろしく願いいたします。社会教育課からは
以上です。

5, 閉会

以 上

署名委員 石 川 治

署名委員 井 奥 智 子